



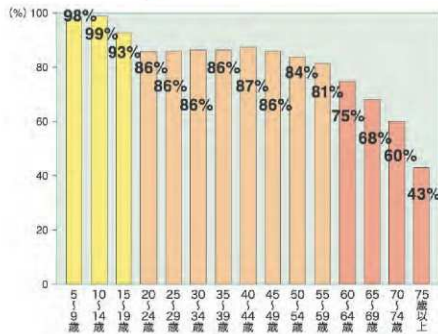
視点 1 高齢社会

※道央都市圏パーソントリップ調査から得られたデータには、 を付けています。

高齢者の外出行動

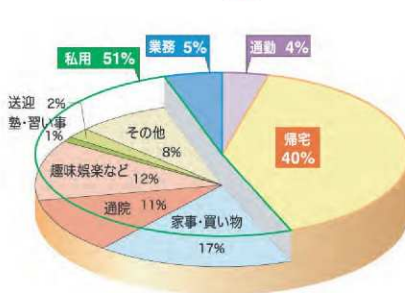
若い人に比べ、高齢者(65歳以上)は外出しない人の割合が高い傾向があります。

【年齢別外出率】



私用での外出が多く、通院の割合も11%あります。

【高齢者の移動目的構成】



高齢者の移動手段

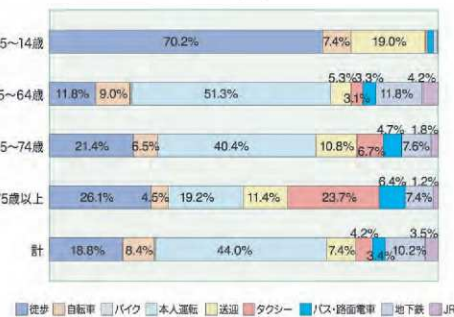
自動車を持たない人の外出率は、持っている人よりも低く、年齢が高くなるにつれてその差が大きくなっていきます。

【年齢別の自動車保有・非保有別一人あたりトリップ数と外出率】



高齢者の利用交通手段は、バス、タクシー、自動車(送迎)、徒歩が多い傾向があります。

【年齢別の交通手段の違い】



高齢者ドライバーの事故

高齢者ドライバーの増加に伴い、高齢者ドライバーによる事故も増加しています。

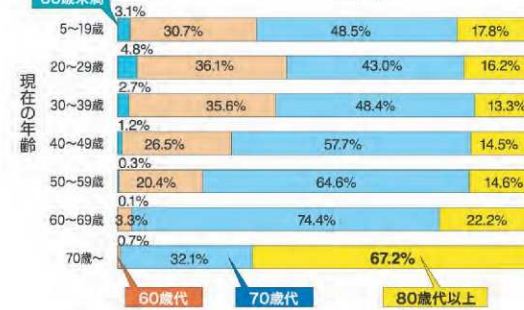
【高齢者の運転免許保有と事故に占める割合】



資料:交通年鑑(北海道警察本部)

69歳までの多くの人は70歳まで運転を続けたいと考えています。

【運転を続けたいと考える年齢】



高齢者は若い人に比べて外出しない割合が高く、特に自動車を持たない高齢者はさらに高く、外出に不便を感じておられる方が多いようです。自動車をお持ちの方も、事故の心配があります。いっそう進む高齢化に向け、高齢者が車を運転しなくても、気軽に出かけられる交通環境づくりが必要でしょう。



視点 2 冬・雪



※道央都市圏パーソントリップ調査から得られたデータには を付けています。

雪で大きく変わる道路環境

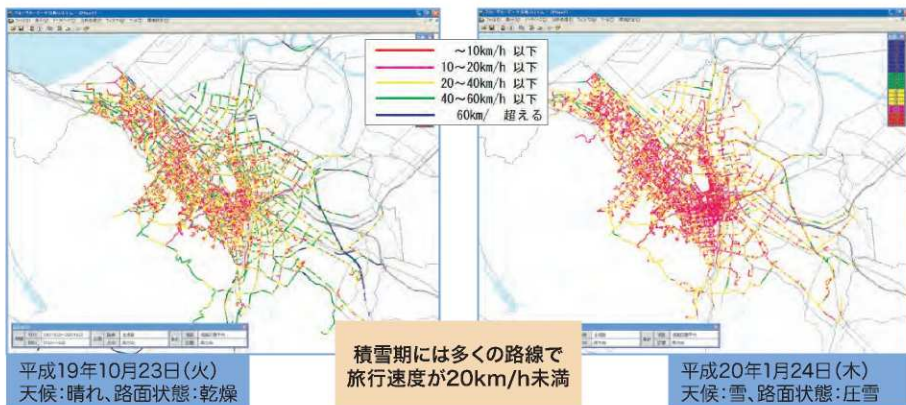
冬期には道路環境が大きく変わり、つるつる路面による転倒事故や交通渋滞などの問題が発生しています。

【札幌市内冬期転倒事故の救急搬送者数とスパイクタイヤ装着率の推移】



凍結しタイヤで磨かれ、滑りやすくなった「つるつる路面」

【札幌市内における無雪期・積雪期別平均旅行速度*の比較】 資料：寒地土木研究所資料(タクシープローブデータ(速報))



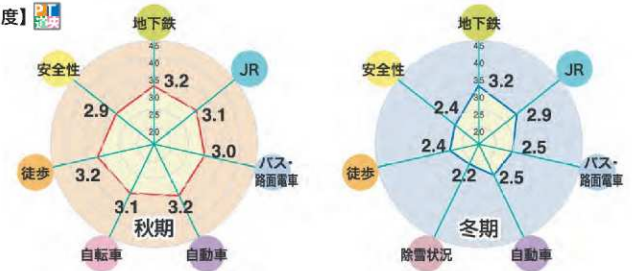
*平均旅行速度…移動距離を信号停止などを含めた所要時間で割ったもの(旅行速度)を通行台数で平均して算出した値。

雪で交通満足度も大きく低下

現在居住している地区の交通サービスへの満足度*は、「地下鉄」が秋と冬でほとんど変化がないのに対し、「自動車」「徒歩」が冬期に大きく低下しています。

【居住地域の交通サービスへの満足度】

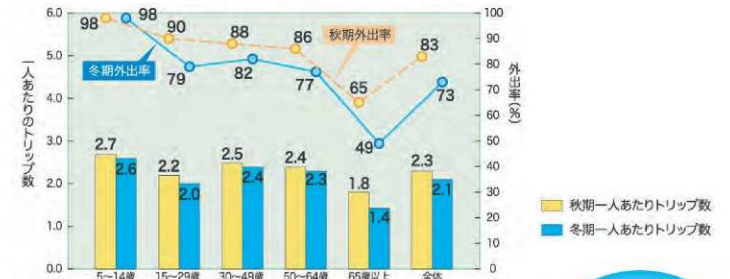
*アンケートに基づく満足度の点数
 「かなり満足している」… 5点
 「満足している」…………… 4点
 「ふつう」…………… 3点
 「不満である」…………… 2点
 「かなり不満である」……… 1点



冬の交通行動

秋期と冬期の一人あたりトリップ数と外出率を年齢別に比較してみると、冬期に低下する傾向が特に高齢者で目立っています。

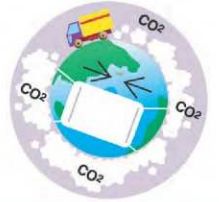
【年齢別の一人あたりトリップ数と外出率の秋・冬期別比較】



つるつる路面で転んだり、積雪で洗滞したり、冬の交通問題には皆さん苦勞しています。冬の暮らしがより快適になるように、雪と上手に付き合っていくことが必要でしょう。



視点 3 環境

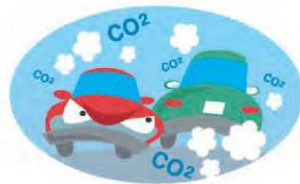
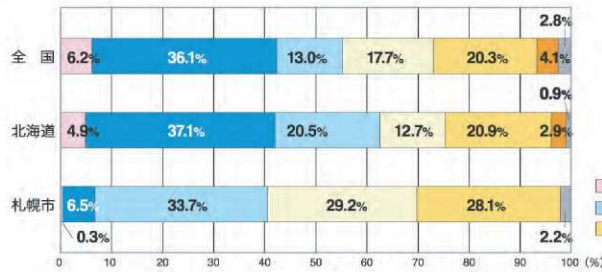


※道央都市圏パーソントリップ調査から得られたデータには を付けています。

自動車利用割合の増加

札幌市における部門別の二酸化炭素排出量は、運輸部門が28%を占めており、全国及び全道の比率よりも高くなっています。

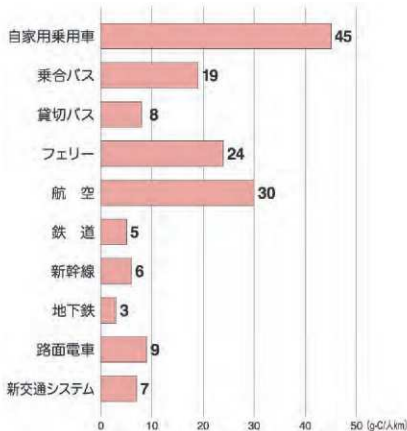
【部門別の二酸化炭素排出割合(H15)】



資料: 国立環境研究所提供データ、北海道環境生活部提供データ、札幌市推計値(札幌市環境局環境都市推進部)

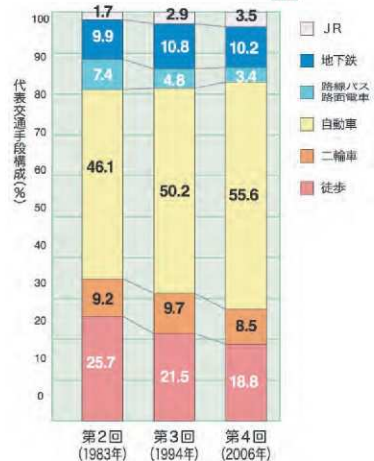
鉄道や地下鉄、バスよりも環境負荷の高い、自動車の交通機関分担率が高まっています。

【輸送機関別の二酸化炭素排出原単位】



資料: 地球温暖化問題への国内対策に関する関係審議会合同会議資料

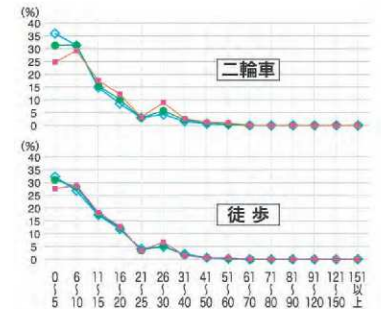
【代表交通手段構成の変化】



自動車利用の実態と意識

トリップ長が短時間(0~10分)の場合、自動車の利用割合が増加し、徒歩・二輪車は減少しています。

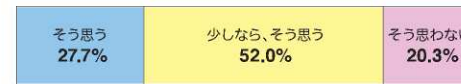
【交通手段別トリップ長分布の推移】



「環境や健康の問題を考えれば、自動車の使い方を考え直してみてもよい」と回答した人は、「そう思う」「少しなら、そう思う」を合わせて約8割でした。一方、「そう思わない」と回答した人の多くは、自動車に比べ公共交通機関の利便性が低いことを理由に挙げています。

【環境や自動車利用に関する意識調査】

「環境や健康の問題を考えれば、自動車の使い方を考え直してみてもよい」と思いますか?



自動車の利用割合が増加し、特に短時間(近距離)の自動車利用が増えています。あなたもどこに行くのにも車を使ったりしていませんか? 環境や健康のため、過度な自動車利用を控え、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段が使いやすくなるような交通システムの実現が必要でしょう。

「自動車の使い方を考え直してみてもよい」と思わない理由

